平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年８月２日

上 場 会 社 名	株式会社ダイショー	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2816	URL	http://www.daisho.co.jp
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	松本　洋助
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員管理本部広報室長	(氏名)	堀脇　裕之　(TEL) 092-611-9340
四半期報告書提出予定日	平成24年８月10日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第１四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	3,675	―	155	―	157	―	99	―
24年３月期第１四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	10.30	―
24年３月期第１四半期	―	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	12,302	6,507	52.9
24年３月期	12,769	6,488	50.8

（参考）　自己資本　　25年３月期第１四半期　　6,507百万円　　24年３月期　　6,488百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	8.00	―	8.00	16.00
25年３月期	―				
25年３月期(予想)		8.00	―	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	8,000	0.2	570	△1.0	570	1.5	300	△4.2	31.11
通期	17,200	1.1	1,200	△5.4	1,200	△6.4	630	7.0	65.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料Ｐ３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧下さい。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	9,868,800株	24年３月期	9,868,800株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	215,885株	24年３月期	215,817株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	9,652,949株	24年３月期１Ｑ	9,653,069株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料Ｐ２ページ「（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成24年３月期第１四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年３月期第１四半期の数値及び平成25年３月期第１四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
４．参考情報 …… 8
前第１四半期連結損益計算書 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり景気の一部に緩やかな回復の兆しが見られたものの、長期化するデフレや円高に加え、電力供給の制約への懸念、消費増税、社会保障などの将来不安により先行き不透明な状態にあります。

食品業界におきましては、食品安全への不安や消費増税の議論、電気料金値上げ問題を背景とした消費者の節約志向の継続、企業間の競争の激化など厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の下、当社は、「既存チャネルの深耕による収益力強化」「更なる成長に向けた新規チャネルの開拓」を基本方針として掲げ、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

品目群別では、たれ類は、「韓国式豚バラ焼肉 サムギョプサルの素」などの新製品投入効果や業務用製品が堅調に推移したものの、既存小売用製品「浅漬けのもと」類などが落ち込み、売上高は16億４百万円（前年同期比98.6%）となりました。スープ類は、素材と連動した提案活動により需要喚起を図ったものの、売上高２億82百万円（前年同期比88.3%）となりました。粉末調味料類は、青果チャネルでは「なすのわさび漬けの素」、鮮魚チャネルでは「たこがおいしいチヂミの素」の拡販効果により売上高９億14百万円（前年同期比103.2%）、ソース類は、「ＣｏＣｏ壱番屋監修 野菜のカレー煮込みソース」の店頭配荷が順調に進んだことに加え、業務用製品の貢献により売上高２億76百万円（前年同期比119.2%）、青汁類は、売上高１億81百万円（前年同期比81.5%）、ドレッシング類は、売上高77百万円（前年同期比79.5%）、その他は、売上高２億86百万円（前年同期比80.9%）、仕入商品は、売上高51百万円（前年同期比105.5%）となりました。

以上の結果、当第１四半期累計期間における売上高は、36億75百万円（前年同期比97.0%）となりました。利益につきましては、営業利益は１億55百万円（前年同期比79.7%）、経常利益は１億57百万円（前年同期比83.5%）、四半期純利益は99百万円（前年同期比88.5%）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第１四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ４億66百万円減少し、123億２百万円となりました。固定資産が総資産の61.9%を占め、流動資産は総資産の38.1%を占めております。主な資産の変動は、「現金及び預金」が９億94百万円、「受取手形及び売掛金」が62百万円それぞれ減少し、「建設仮勘定」が６億21百万円増加したことによります。

負債は、前事業年度末に比べ４億86百万円減少し、57億94百万円となりました。流動負債が負債合計の59.1%を占め、固定負債は負債合計の40.9%を占めております。主な負債の変動は、「買掛金」が２億57百万円、「未払法人税等」が１億79百万円、「賞与引当金」が１億75百万円、「長期借入金」が１億15百万円それぞれ減少し、「短期借入金」が３億円増加したことによります。

純資産は、前事業年度末に比べ19百万円増加し、65億７百万円となりました。主な純資産の変動は、配当77百万円の支出と四半期純利益99百万円の増加により「利益剰余金」が22百万円増加したことによります。自己資本比率は52.9%となり、前事業年度末に比べ2.1%上昇しました。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期決算短信（平成24年５月10日公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰延べる方法を採用しております。

② 税金費用の計算

当第１四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第１四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,321	1,327
受取手形及び売掛金	2,338	2,275
商品及び製品	453	447
原材料	275	260
その他	366	429
貸倒引当金	△77	△48
流動資産合計	5,677	4,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,628	1,597
土地	2,687	2,687
リース資産（純額）	356	319
その他（純額）	1,552	2,142
有形固定資産合計	6,225	6,747
無形固定資産	27	24
投資その他の資産		
投資その他の資産	840	840
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産	838	838
固定資産合計	7,091	7,610
資産合計	12,769	12,302

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,410	1,152
短期借入金	460	760
未払金	942	917
未払法人税等	242	62
賞与引当金	350	175
役員賞与引当金	18	4
その他	353	348
流動負債合計	3,777	3,421
固定負債		
長期借入金	1,365	1,250
退職給付引当金	381	382
役員退職慰労引当金	461	474
その他	294	265
固定負債合計	2,503	2,372
負債合計	6,281	5,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	5,343	5,365
自己株式	△114	△114
株主資本合計	6,479	6,501
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8	5
評価・換算差額等合計	8	5
純資産合計	6,488	6,507
負債純資産合計	12,769	12,302

（２）四半期損益計算書
　第１四半期累計期間

（単位：百万円）

	当第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	3,675
売上原価	1,972
売上総利益	1,702
販売費及び一般管理費	1,546
営業利益	155
営業外収益	9
営業外費用	8
経常利益	157
税引前四半期純利益	157
法人税、住民税及び事業税	57
四半期純利益	99

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

該当事項はありません。

４．参考情報

前第１四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	3,809
売上原価	2,035
売上総利益	1,774
販売費及び一般管理費	1,590
営業利益	184
営業外収益	11
営業外費用	7
経常利益	188
特別損失	4
税金等調整前四半期純利益	183
法人税、住民税及び事業税	71
少数株主損益調整前四半期純利益	112
四半期純利益	112